

【がんばる市内企業の事業活動や事業展開を紹介します】

株式会社 積水化成成品四国

～顧客満足度、販売シェア、製造コストで四国No.1を目指す～



◆所在地 大洲市多田
◆電話 26-1111

弊社では、平成17年に積水化成成品工業株式会社の出資により設立されました。従業員は本社である大洲営業所と、徳島県の鳴門営業所あわせて56人を雇用しています。

弊社では、発泡スチロールの特性を生かした水産資材、食品資材、農産資材、土木・建築資材を取り扱っています。商材およそ80種類を取り揃えています。主に四国全域が販路で、製造から加工、販売までを一貫して行い、供給できる体制を整えています。

商材の原料となる発泡スチロールは、体積の98パーセントが空気です。断熱性の高さなど、優れた省エネ素材と言えます。

がんばる大洲企業



また、弊社などが会員となつている発泡スチロール協会では、発泡スチロールのリサイクル率88パーセントを達成しています。

省エネ素材であることに加え、業界全体でリサイクル率を高めることで、自然環境を守る取り組みを実践しています。

弊社では、農産資材を主力商材として営業活動を展開していますが、現在、物流が停滞気味だと感じています。その打開策として、グループ全体の商材を取り扱いながら、何を製造するか検討する必要があります。顧客のさまざまな要望に応えるため、形やデザインも含めて提案していきます。

弊社は100年先を見据えた事業を展開しています。特に「今できることは、すぐに着手する」ことを行動指針と位置づけています。

今後は商材の取り扱い品目を増やし、売り上げを伸ばすことで、安定的な地元雇用ができる企業を目指します。

文化財



おおたにぶんらく
大谷文楽
愛媛県指定無形民俗文化財
大谷文楽保存会

文楽とは、物語を語る太夫、三味線弾き、人形遣いの三者によって演じられる操り人形芝居のことで、人形浄瑠璃とも言われます。

室町時代末期から江戸時代にかけて、江戸、京都、大坂で人気となった人形芝居(文楽)は、その後全国へ広がり、各地に人形芝居の一座が誕生することとなりました。

大谷文楽は、嘉永6年(1853)淡路の人形芝居吉田伝次郎一座が大谷村を巡業中、12代將軍家慶の死去によって発せられた鳴物停止令によって一座が解散した後、村に残った一部の座員が村の青年に人形の操り方を教えたのがはじまりとされています。

現在は、「大谷文楽保存会」によって保存伝承活動が行われていて、定期公演をはじめ他地域の文楽保存会との合同公演など、幅広く活躍しています。

(昭和39年3月27日指定)

野鳥



オオバン (大鵜)
ツル目 クイナ科
大きさ39cm

10年くらい前までは、珍しい野鳥でしたが近年、飛来数が増えている冬鳥です。ハトより少し大きめで、真っ黒い体に白い額板(額の前にあるくちばしと一体の板状の突起物)が特徴で、すばっこいクイナ類でも、一番目にしやすい野鳥です。水辺で生活しているため、特殊な水かきがあり、泳ぐことはもちろん、水中に潜って底に生えている水草を採ることもできます。特定外来種の「オオカナダ藻」が大好物で、各地で大量発生しているため、個体数が増えたのかもしれませんが。人道的に持ち込まれた動植物は、全ての生き物の生態を根本的に脅かし、後世にも悪影響を及ぼしかけています。他の地域で暮らす生き物を安易な考えで自然界に放つことについて、一人ひとりが今一度考え直す時期が来ていると思います。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

大洲の食育

大洲市では、「大洲市食育推進計画」に基づいて食育の推進を図り、食に関する情報を定期的に掲載しています。今回は、農林水産課での活動を紹介いたします。

米づくり体験 — 食農教育 —

農林水産課では、「食の大切さ」とその食を支える「農業の大切さ」を学んでもらうため、「食農教育事業」の一環として、農業体験や加工体験を行っています。今年度は、大洲市青年農業者協議会の会員や地元野菜ソムリエの協力の下、市内小中学校など5箇所を対象に事業を行っています。

しみ、「お米を作るのは大変」などの感想が聞かれました。今回の事業を通して、園児たちは、お米作りを身近に感じることができた様子でした。

菅田保育所では、「大洲の自慢・お米を作ろう」をテーマに田植え体験を行いました。園児たちは関係者から苗の植え方、お米の育て方などを教えてもらい、実際に田んぼで作業しました。真剣な眼差しで田植えをする子や田んぼに入りはしゃぐ子、泥だらけになる子など、みんな楽しく取り組んでいました。園児たちからは、「お米ができるのが楽



とっておきの撮影スポット探しています

「この季節に」「この場所から」「この角度で」など、あなただけのとっておきの撮影スポットを教えてください。

みなさんからご紹介いただいた写真・場所は、市のホームページなどで定期的に紹介します。

【情報の提供方法】

- ▽様式などは特にありません。
- ▽住所・氏名・電話番号・題名・コメント・撮影場所を記載してください。
- ▽郵送・FAX・メール・持参いずれも可

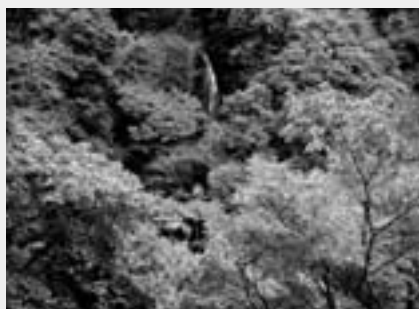
【問い合わせ先】

商工観光課観光係
 ☎24 2111 (内線532)
 FAX 24 0080
 メール
 syoukokuankankouka@city.ozu.chime.jp

【観光係職員のお薦めショット】

「白滝公園のもみじ」

詩人、野口雨情が「秋の白滝、木と木のもみじ、山に錦の幕をはる」と絶賛した美しい滝と紅葉の渓谷美が見所です。
 白滝公園では期間中、午後5時から10時までライトアップされます。



「人面岩」

高さ約5m、幅約3mの人面岩は、ギリシヤ神話から抜け出したような彫りの深い崇高な顔立ちです。約150年前、道路完成記念に、力石力造という石工によって彫られたものと言われています。



おめでとーございます

平成24年度数え年100歳訪問



対象者の一人である、長浜町出海在住の中井リヨさんを訪問した清水市長は「長浜地域は空気が澄んでいて、食べ物もおいしく過ごしやすい場所であると思います。これからも元気で、より長生きしてください」と話しました。

清水市長の言葉に中井さんは「毎日少しでもいいので、散歩するようにしています。炊事や洗濯も自分で行い、とにかく体を動かすことが元気の源だと思えます。ずっと、元気に過ごしていきたいです」と述べました。

今後も、大洲市では高齢者の住み良いまちづくりに取り組んでいきます。

今年で、数え年100歳を迎える市内の長寿者を顕彰しようと、9月18日(火)から9月21日(金)にかけて、清水市長や老人福祉センター所長が対象者を訪問しました。この顕彰は毎年行っているもので、今年は大正2年生まれの人を対象としています。



平成24年度愛媛県優良農山漁村

生活研究組織知事表彰受賞

9月7日(金)、愛媛県生涯学習センターで開催された「第38回愛媛県農山漁村ふるさとづくり推進大会」で、大洲市生活研究会の河辺グループが、愛媛県優良農山漁村生活研究組織(地域活性化部門)知事表彰を受賞しました。

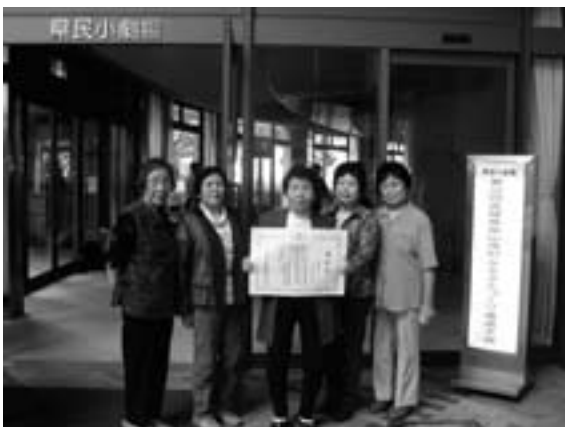
河辺グループは、旧河辺村で活動していた4グループが市の合併を機に1つになり、平成17年に発足しました。

普段は、地元の加工所で自らが生産した農産物を使い、まんじゅうやクッキー、まめいりなどの加工品を直売所で販売しています。



女性ならではの発想や、感性を生かした商品開発・研究などを重ね、地域の活性化を目指した活動に取り組んでいます。また、地元との交流イベント(わらじで歩こう 龍馬脱藩の道・河辺ふれあいフェスタ)の際には、農産物や加工品の販売活動を通して、地域活動に貢献しています。

その他にも、地域産物を生かした知識・技術の伝承、地元の小中学校と連携した食文化の普及活動などを行っています。こうした地域に根差した幅広い活動が高く評価され、今回の受賞につながりました。



第24回わらじで歩こう

坂本龍馬脱藩の道

9月22日(土)、「龍馬がゆく! 大洲」150年記念事業の一環として、武田鉄矢氏率いる海援隊のトーク&ライブ2012が、河辺中学校体育館で開催されました。

開場前から、海援隊のファンや地元の人たちが列をなし、ライブが始まると大変な盛り上がりを見せました。武田氏の軽快なトークに、会場からは笑い声が飛び交うなど、終始和やかな雰囲気になっていました。

同日には、河辺ふるさと公園で「龍馬を語る夕べ」が行われました。全国から集まった総勢58人の龍馬ファンが、龍馬への熱い思いをそれぞれ語っていました。



23日(日)、河辺ふるさと公園で出立式を行い、「わらじで歩こう 坂本龍馬脱藩の道」がスタートしました。

参加者はAコース(榎ヶ峠・泉ヶ峠)とBコース(河辺ふるさと公園・泉ヶ峠)に分かれ、河辺地域の名所を巡りながら歩きました。

快晴となったこの日、参加者は汗をにじませながらゴールを目指しました。休憩地点では、地元の人たちからおにぎりや味噌汁が振る舞われ、参加者は疲れた体を癒していました。

前夜祭を含めた今回のイベントには、県内外から920人もの人々が参加しました。

平成24年度 大洲市民運動会が行われました

晴れ渡った秋空の下、平成24年度大洲市民運動会が10月7日(日)、八幡浜・大洲地区運動公園(陸上競技場)で開催されました。

大洲市内の地域を18チームに分けて行われる市民運動会には、各地域から選抜された精鋭たちが集いました。

日頃の練習の成果を十分に発揮するチーム、気合いが空回りしてしまうチームなどさまざま、会場は終始、応援の熱気に包まれていました。

市民運動会の結果は、次のとおりです。

地区名	順位	得点
肱南	⑦	119
肱北	⑮	57
喜多	⑭	61
久米	⑥	121
平野	②	151
平野	③	150
南久米	⑪	76
菅田	④	132
大川	⑩	82
柳沢	⑨	113
新谷	①	163
三善	⑤	124
八多喜	⑧	113
上須戒	⑯	54
長浜A	⑰	42
長浜B	⑱	24
肱川	⑬	65
河辺	⑫	70

【努力賞】 肱川、河辺

【特別賞】 新谷、長浜A、南久米、三善





10月1日(月)

来年もよろしくウ ～鵜感謝祭～

うかいシーズンが終了し、今年活躍した鵜を労おうと、肱北河原で鵜感謝祭が行われました。

56年目を迎えた今年のうかいは、大雨の影響などもあり、観覧客数が7,422人と伸び悩みました。

来賓を代表して清水市長は「お疲れ様でした」と、鵜に労いの言葉をかけました。

その後、参加者は来年のうかいの盛況を祈願しながら、鵜に餌を与えました。



8月27日(月)～31日(金)

地域医療の重要性を感じて ～自治医科大学医学生地域医療実習～

自治医科大学5年生の原和也^{かずや}さん（写真の左から2番目）が、地域医療実習として、河辺診療所で5日間の実習を行いました。

原さんは実習の中で、河辺診療所の濱上医師による熱心な指導の下、さまざまな体験を通じて地域医療の現状に触れていました。

今後、愛媛の地域医療に携わりたいと考える医師が増えることを期待しています。



10月4日(木)

清掃で心もきれいに ～四国八十八か所遍路道清掃活動～

四国八十八か所の遍路道をきれいにしようと、大洲市十夜ヶ橋永徳寺の周辺で、清掃活動が行われました。

社団法人愛媛県産業廃棄物協会の社会貢献事業として行われたこの活動には、約60人が参加し汗を流しました。

大洲市も集められた廃棄物の処理を行うなど、企業・市民・行政が一緒になって、清掃に取り組みました。



9月15日(土)

勝利のためにつなぐリレー ～愛媛マンダリンパイレーツ後期公式戦～

小雨の降る中、八幡浜・大洲地区運動公園（大洲球場）で愛媛マンダリンパイレーツ後期公式戦が行われました。

福岡ソフトバンクホークス3軍との一戦は、初回に金城選手のHRでリードしながらも、その後同点に追いつかれる緊張感漂う試合になりました。

最後は、橋本選手が内野安打を放ち、12対11でマンダリンがサヨナラ勝ちしました。